

平成28年度

自己評価結果

作成 大美野幼稚園

1、本園の教育目標

- ・人とのかかわりを大切にする子ども
- ・豊かな感性と表現力のある子ども
- ・心身共にたくましい子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- 「一人の力 チームの力」
- ・学年でチーム力を磨き、互いに切磋琢磨する中で指導力を高めること。
 - ・子どもや保護者とのコミュニケーションを大切に、一人一人の子ども理解に努め、子どもを中心に個に応じた指導を心掛けること。
 - ・人権感覚を磨く。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
園運営について ○あらゆるものを見直して、新しい方法や時代に即した効果的な指導を考える。 ・これでよいという考えではなく、常に見直し、改善し、取り組む。 ・全ての職員が自分の役割を自覚し、積極的に取り組む。 ○初任者指導の充実を図る。	・園行事については主担を明確にし、その主担のビジョンを優先してみんなで協力して取り組む。 ・初任者が働き甲斐を持って取り組めるよう、学年主任や研修主任はコミュニケーションを深め、初任者の心身のケアに努め、指導力の向上を図る。
○園の施設・設備の整備 ・安全点検 ・施設改修 ・設備の充実	・毎月安全点検を実施し、設備、備品など細部に至るまで点検し改善処置をしている。 ・雨漏りの修理と全館外壁の塗装 ・男子トイレの改修、洋式トイレの設置 ・視聴覚機器の充実
○子ども一人ひとりに応じた保育の実践 ・保護者とのコミュニケーションを積極的に行い、連携を深め、組織的に対応する。個に応じた指導を図る。 ・支援の必要な園児には、関係機関との連携、指導を得ながら個に応じた指導を行う。	・キンダーカウンセラーやスーパーバイザー等と連携を密にし、個に応じた指導の在り方を研究している。 ・各学年で年間計画を立て、学期・月毎にカリキュラムの打ち合わせをし、指導の深化充実を図っている。 ・園内、園外研修会に積極的に参加する。
○考える力をはぐくむ保育の実践 「一人ひとりの子どもに考える力をはぐくむことをめざして」 教育活動のあらゆる場面で本園の教育目標の実現に向けてカリキュラムを組み、実践をする。	・全教諭が研究保育で発達段階に応じた指導、子どもたちの個性、可能性を伸ばす保育を研究している。子どもが中心で主体的な保育の進め方を追求し、子どもたちに考えさせる指導展開をとっている。 ・カブトムシの飼育、野菜作り、芋掘りなど自然とふれあう活動を取り入れている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事を通じて、音楽や劇遊び等の表現力を磨く。 ・園外保育や作品展、日常の保育等を通じて、友だちとの関わり方を学び仲よく活動することの楽しさを見につけさせるように取り組んでいる。
○危機管理 設備、備品の整備 防災訓練 職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・AEDの設置とその使用法の訓練。救急蘇生法講習会。 ・対地震・火災避難訓練を毎月1回実施 ・アレルギー児への対応の研修及びエビペンの使い方の講習
○子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・午前7時30分～9時30分 午後3時30分から6時30分まで預かり保育を実施している。長期休業中も年末年始を除いて11時間保育を実施している。 ・「ラビちゃん教室」や「ひよこクラブ」「たまごクラブ」を開き、未就園児の園庭開放を実施。 ・東区子育て支援ネットワーク活動に参加。 ・多彩な課外クラブ活動を設け、個性の伸長を図っている。
○PTA活動の充実 会員相互の親睦を図る中で、共に子育てする保護者同士のつながりをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなPTA研修会や本の貸し出し、園行事の支援等を通して、会員相互のつながりを深めている。 ・お母さん先生として、遠足や芋ほりの付き添いを依頼し、園児の安全に配慮をいただいている。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
○施設・設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○社会の求める教育、効果的な指導を行うために設備の充実を図る ・アレルギー園児の給食用機の導入 ・視聴覚機器の充実
○地域社会との連携や地域の人材活用	<ul style="list-style-type: none"> ・登美丘3小学校との連携・交流 ・音楽、茶の湯、絵本の読み聞かせ等の講師を招き、体験活動を実施。 ・大美野っ子クラブの講師として地域の方を招聘 ・おすもうさんを迎えてのお楽しみ会
○教職員の指導力の向上と活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員年間1回の研究保育 ・学年での研修体制を確立 ・専門家を招いての園内研修の充実 ・園務分掌を見直して職員の活性化を図る ・初任者研修の充実 ・園外研修への積極的参加

6、園関係者の評価

<p>○常に新しい目線で新しいものに取り組み、保護者の意見にも耳を傾けている。</p> <p>○経験豊かな教職員のもと、安心と充実のカリキュラムで保育が行われている。</p> <p>○延長保育が充実していること、バスが導入されたことで利用者が増えた。経営の安定が図れる</p> <p>○PTA活動があり園児が多くの人とかわりを持つことができる。保護者同士の交流も多い。</p> <p>○大美野っ子クラブの活動を通して、個性を伸ばしようとしている園の方針がよくわかる。</p> <p>○教職員が一致団結した中で熱心な指導が行われている。また、園児はのびのびと過ごせている。</p> <p>○園児、保護者に対して丁寧な対応をしてくれている。</p>
